

ニューズレター No.35

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2010(平成22)年11月29日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.35をお届けいたします。今回は、

(1)九州・沖縄支部会 支部大会開催報告

(2)九州・沖縄支部会 支部総会開催報告

についてお知らせいたします。

九州・沖縄支部会 支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会では、旧称である九州地方部会の当時から、九州および沖縄に所在する機関に所属する会員の交流のために会合を開催してきました。

日本リメディアル教育学会九州部会は、2006年2月6日に、九州部会担当理事の川瀬義清先生のお世話で、西南学院大学で開催され、これが第1回目となります。その後、以下のように開催されています。

2008年3月23日:日本リメディアル教育学会九州部会(佐賀大学)

2008年12月20日:西南学院大学

2009年11月7日:日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部大会とITK-FUKUOKA2009の合同講演会(福岡大学)

第5回目となる今回は、11月21日、沖縄国際大学において日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会 支部大会および支部総会を開催しました。日曜日にもかかわらず60人の参加者が集まり、NHK 早川信夫解説主幹による特別講演、小野ファウンダーと穂屋下会長による講演および一般研究発表12件が行われました。企業展示出展企業4社に加え、日本テレビの取材も行われました。

大会前日の11月20日の夕刻には情報交換会が開催され、27人の参加者が集まり、熱のこもった意見交換が行われました。

日時:2010年11月21日 9時30分から17時まで

会場:沖縄国際大学 <http://www.okiu.ac.jp/>

実行委員会:大城朋子(沖縄国際大学)、小野 博(昭和大学)、尚 真貴子(沖縄国際大学)、田口 純(筑紫女学園大学)、

寺田 貢(福岡大学)、ダグラス・ドライスタット(沖縄国際大学)、穂屋下 茂(佐賀大学)、米満 潔(佐賀大学)

プログラム:

9:30-9:40 開会の辞 寺田 貢(福岡大学)

9:40-10:10 特別講演 早川信夫(解説主幹、NHK):今、大学に求められること

10:10-10:50 講演 小野 博(昭和大学)、馬場真知子(東京農工大学)、たなかよしこ(日本工業大学):授業で利用可能な日本語教材の教材内容と配布方式 -高等教育の基礎である日本語力育成を目的に、授業の一部での利用を目指した学会提供教材-

10:50-11:30 講演 穂屋下 茂(佐賀大学):e-Learning を利用したリメディアル教材と教育法

11:30-11:40 展示企業の紹介

11:40-12:00 日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会 総会

12:00-13:30 昼食

13:30-15:00 一般研究発表:英語教育

I-A-1. 牧野真貴(近畿大学):小学校英語活動指導法がリメディアル英語授業に示唆すること-スポーツ推薦入学生をモデルにして-

I-A-2. 内田富男(明星大学):An Attempt to List Basic Collocations for Vocabulary Teaching to False-Beginners - Extracting Of-Phrases from an English-Japanese Dictionary Corpus -

I-A-3. 上村隆一(北九州市立大学):「三位一体」型教材を活用した英語リメディアル教育の可能性

13:30-15:00 一般研究発表:初年次教育

I-B-1. 廣嶋道子(福岡大学)、大津敦史(福岡大学):附属推薦入学予定者を対象にした入学前教育の実施 -福岡大学の事例-

I-B-2. 大城明子(沖縄国際大学):大学初年次共通英語クラスにおける豆テストの実践報告

I-B-3. 小園和剛(熊本県立大学)、進藤三雄(熊本県立大学)、上拂耕生(熊本県立大学)、望月信幸(熊本県立大学)、飯村伊智郎(熊本県立大学)、三浦 章(熊本県立大学):入学前教育におけるメールマガジン利用の取組み

15:00-15:20 休憩

15:20-16:50 一般研究発表:ICT活用教育、日本語教育

II-A-1. 穂屋下 茂(佐賀大学)、久家淳子(佐賀大学)、米満 潔(佐賀大学)、古賀崇朗(佐賀大学)、原口聡史(佐賀大

学)、永溪晃二(佐賀大学)、藤井俊子(佐賀大学)、梅崎卓也(佐賀大学):単位の実質化に向けた e ラーニング教材を活用した学習環境の構築

II-A-2. 江原由裕(九州龍谷短期大学)、原田泰教(佐賀大学)、穂屋下 茂(佐賀大学):e ラーニング科目を開講して

II-A-3. 瀬村江里子(松本歯科大学):日本語の「読み」「書き」能力向上のためのきっかけ作り

15:20-16:50 一般研究発表:リメディアル教育全般、理数系教育

II-B-1. 谷川裕稔(四国大学短期大学部):学習支援概念枠組みに関する一考察(3)(「ディベロップメンタル教育」概念の導入を中心に)

II-B-2. 柴田喜幸(産業医科大学)、佐藤亜紀(産業医科大学)、柴田弘子(産業医科大学)、高木幸子(産業医科大学)、松本智晴(産業医科大学)、古川 博(産業医科大学)、波田哲朗((株)アクシス開発制作部):eラーニングを用いた学部新入生の基礎科目におけるリメディアル教育

II-B-3. 高橋大介(名桜大学)、小田五月(名桜大学):学生主体の数理学習センターの取り組みと、連携授業の果たす役割

16:50-17:00 閉会の辞 ダグラス・ドライスタット(沖縄国際大学)



写真:発表会場の模様

九州・沖縄支部会 支部総会報告

支部総会では、2010年度の活動報告と2011年度の活動計画などの議題について、報告・審議されました。

(1)2010年度の活動について

1)九州・沖縄支部会会合の開催

2010年11月21日 日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会支部大会を開催

2010年11月21日 日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会支部総会を開催

2)メールリングリストによる情報提供・情報共有

メールリングリスト(jade-kyushu@ml.fukuoka-u.ac.jp)を利用した情報提供

発信日:2009年10月24日、11月3日、11月13日、
2010年9月7日、9月9日、10月3日、
10月15日、11月3日

3)その他

・予算捻出方法の検討

現状では適切な方法を実現できていない。

・九州・沖縄支部から九州・沖縄支部会への名称変更

2010年3月19日の関西支部大会で開催された臨時総会で承認された会則改正により、「地方部会または支部」の呼称が「支部会」に変更されたため、九州・沖縄支部会と名称を変更した。

(2)2011年度の活動案について

以下の議題について審議され、いずれも承認されました。

1)支部大会および支部総会の開催

2)メールリングリストを使った会員間の情報交換

3)支部会の体制

4)第7回全国大会の開催

5)予算捻出方法の検討

会誌への論文投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。詳しくは <http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢